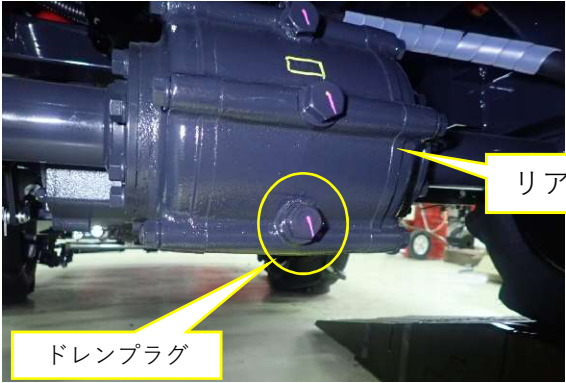
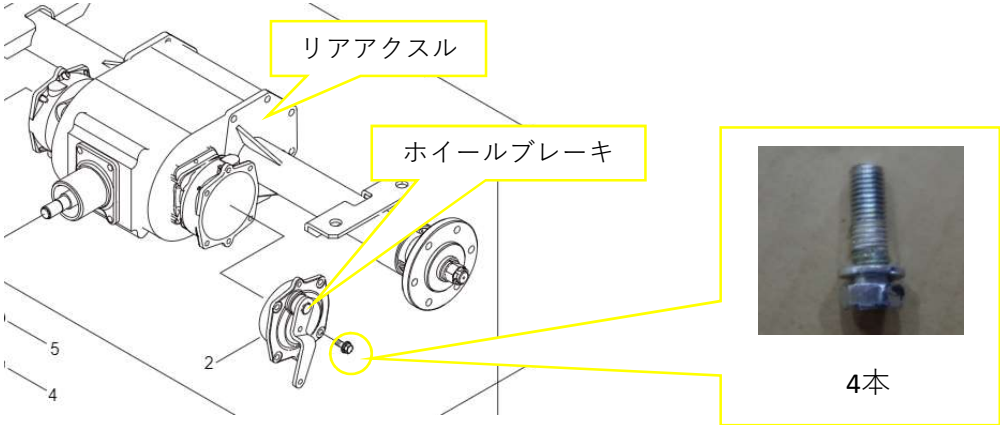
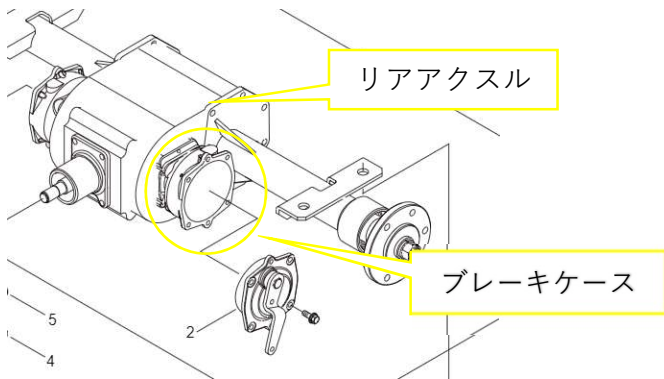
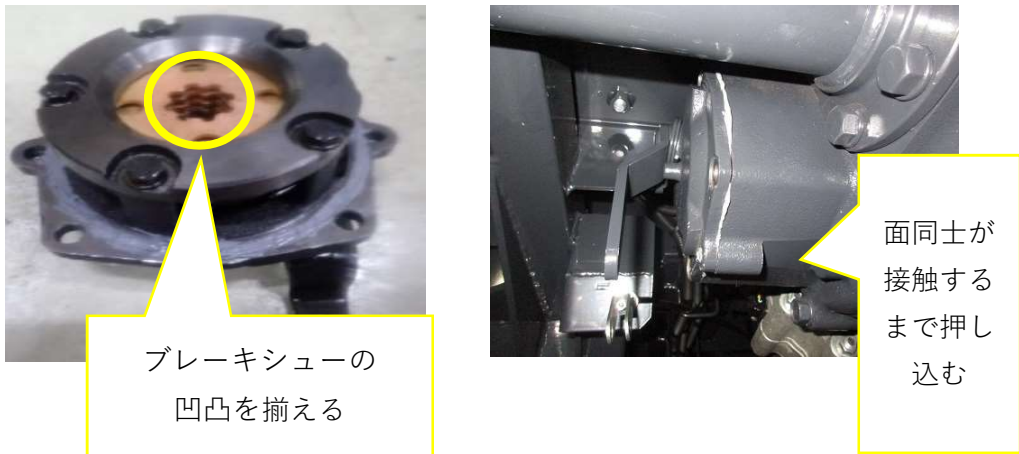


改修部品一覧

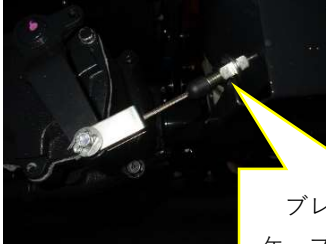
No.	部品名	部品コード	個数
1	ホイールブレーキ(左)	J381-000171	1
2	ホイールブレーキ(右)	J381-000181	1
3	ワリピン	900300-25025	2

手順	項目と作業内容	使用工具(参考)
1	ジャッキアップ方法を参考に車体をジャッキアップします。 ジャッキアップ方法 1. 本機をジャッキアップして架台に載せる時の手順は下記の通りです。 ① 前側を上げる → ② 後ろ側を上げる 2. 架台から降ろす時の手順 ① 後側を降ろす → ② 前側を降ろす 3. 前側のジャッキアップと架台を掛ける位置は写真の通りです。 フロントアクスル  ジャッキは、フロントアクスル中心のデフケース部分に掛けること ジャッキが機体の下に入らない場合は、下写真のように木端又はスロープ等を用いて、最低地上高を確保すること。 木端等を用いて、地上高を確保する  馬台  前側の馬台を掛ける位置は、下写真の位置にして下さい。 4. 後側のジャッキアップと馬台を掛ける位置は下写真の通りです。 リアアクスル  馬台はメインフレームに掛けること ジャッキは、リアアクスル中心のデフケース部分に掛けること 馬台はメインフレームに掛けること 	・ジャッキ ・馬台

手順	項目と作業内容	工具(参考) 2/5頁
2	ブレーキケース下部のオイルドレンプラグを外し、オイルを抜きます。 オイルが抜き終わったらドレンプラグを組付けます。 	・24mmメガネレンチ ・オイル受け
3	ワリピン、ワッシャ、ピンを外しブレーキクラッチケーブルを外します。 	・ラジオペンチ
4	ホイールブレーキを固定しているM8ボルト4本を外します。 	・12mmスパナ ・12mmソケットレンチ
5	ブレーキケースからホイールブレーキを取り外します。 ※取り外した際、ブレーキケースのノックピンがホイールブレーキ側に組み付いた状態になることがあります。その時はブレーキケースからノックピンを抜き取り、ブレーキケース側へ組み付け直して下さい。	・マイナスドライバー ・ハンマー ・プライヤー

手順	項目と作業内容	工具(参考) 3/5頁
6	ブレーキケースのホイールブレーキとの合わせ面とボルト穴を洗浄、脱脂します。 合わせ面にキズ等による凸がある場合、ヤスリで均してください。 	・ウエス ・パーツクリーナ ・ヤスリ
7	新品のホイールブレーキのブレーキケースとの合わせ面全面に液状ガスケット (TB1207D相当品)を塗布します。 	・液状ガスケット TB1207D相当品
8	ブレーキシューの凹凸を揃え、ホイールブレーキをブレーキケースへ組み付けます。 面同士が接触するまで手で押し込みますが、途中で引っかかる場合にはブレーキシューの凹凸が揃っていない可能性があるため、一度取り外して、ブレーキシューの凹凸を揃えてから再度組付けを行ってください。 	

手順	項目と作業内容	工具(参考) 4/5頁
9	手順4を参考にM8ボルト4本を25～35N・mで締め付けます。	・ 12mmスパナ ・ 12mmソケット レンチ ・ トルクレンチ
10	手順3を参考に新品のワリピンを用いて、テンションスプリング、ピン、ワッシャとブレーキクラッチケーブルを組み付けてください。	・ ラジオペンチ
11	手順2～10を参考にもう片側のホイールブレーキを交換してください。	
12	オイルを入れるため、機体を水平状態とし、リアアクスルのレベルゲージプラグ下部へオイル受けを設置します。レベルゲージプラグを外します。 レベルゲージプラグよりギヤオイル SAE #90を補充してください。 オイル規定量は1.3ℓでレベルゲージからオイルが出てくるまで補充してください。 レベルゲージから出てきたオイルをふき取り、プラグを元に戻します。	・ 24mmメガネ レンチ ・ ギヤオイル SAE #90 1.3ℓ ・ オイル受け
13	車体を馬台から降ろしてください。	

手順	項目と作業内容	工具(参考) 5/5頁
14	ブレーキ連結を解除し、左右のブレーキペダルをそれぞれ10回踏んだ後、ブレーキペダルの遊びを確認します。左右の遊びが均等で30～35mmの中に入っていることを確認してください。  ブレーキ連結を解除  ブレーキペダル 左右 の遊びを確認 左右の遊びが均等でない場合はブレーキクラッチケーブルのアウターの固定位置を調整し、遊びを調整します。 M6ボルト4本を外してリア側のアンダーカバーを外し、調整を行う側のブレーキクラッチケーブルを固定しているナット2個を14mmのスパナ2本を用いて緩め、固定位置を変えて遊びの調整を行います(SSEV5021にはアンダーカバーはありません)。  リアアクスル  ブレーキクラッチ ケーブル リアアンダー カバー ブレーキクラッチ ケーブルのアウター位 置で遊びを調整 エンジンを始動し、走行を行い、ブレーキペダルを踏んだ際に車体が停止することを確認してください。また、リアアクスル各部よりオイル漏れがないか確認してください。	・ 14mmスパナ 2本 ・ 10mmスパナ
15	作業終了後、シリアルナンバーラベル付近にリコールラベルを貼り付けてください。  シリアルナンバ ラベル リコール ラベル 	

SSVH535 SSEV5021 ホイールブレーキ改修チェックシート

実施日 20 年 月 日

作業者名 _____ 営業所(管内) _____

型式 ☐SSVH535 ☐SSEV5021

仕様 ☐F ☐FKN ☐F/EP ☐F/EPKN ☐F/A ☐F/EPA

シリアルNo. _____ 使用時間 _____

備考 _____

【交換作業】※作業要領書に従って確認し、チェックマーク(レ点)を記載願います。

確認項目	実施
1. ホイールブレーキに液状ガスケットを塗布し、25～35N・mで締め付け	☐
2. ブレーキクラッチケーブル、テンションスプリング、ピン、ワッシャ、ワリピン組付け	☐
3. ドレンプラグ組付け	☐
4. ギヤオイル SAE #90をリアアクスル レベルゲージまで給油	☐
5. レベルゲージプラグ組付け	☐
6. 左右のブレーキペダルの遊びが均等で遊びが30～35mmであること	☐
7. エンジンを始動し、走行を行い、ブレーキペダルを踏んで車体が停止すること	☐
8. リアアクスル各部よりオイル漏れなきこと	☐
9. リコールラベル貼り付け	☐

作業終了後、このチェックシートをWEBワランティの申請に添付して報告してください。